

社 内 ニ ュ ー ス TOPICS

パソコンで遠隔監視—館山浄水場に導入

Telemonitoring system with personal computer was installed at Tateyama water purification plant (Kesennuma city).

気仙沼市ガス水道部と神鋼パンテックはこのほど、浄水場、ポンプ場などをNTT回線を介してパソコンで遠隔監視制御したり、運転データの管理まで行う水道施設遠隔監視システムを共同開発し、同市館山浄水場への導入を行った。気仙沼市が遠隔監視システムの設計を、神鋼パンテックが同社のパッケージソフト「プロセスモニタPMX-98」を応用し、システム開発を進めた。同システムは汎用のパソコン(NEC製98シリーズ)と専用ソフトで構成されているため、システムの変更・追加が容易。ハードもシンプルで経済的などの特長がある。

このシステムは遠隔地にある無人の浄水場、ポンプ場などの各種センサや機器のアナログ信号(流量、水位、電流、電圧など)、パルス信号(積算流量、電力量、機器運転時間など)を、NTT回線(専用、一般)を利用してリアルタイムでパソコンに取り込み、グラフィック表示、トレンド表示、日報作成などをするとともに、ポンプ、バルブなどの開閉、起動・停止などが行えるシステム。現場で異常があった場合もセンター側に通報、その内容がセンター側で把握出来るようになっている。また、ユーティリティソフトを使ってユーザが簡単にシステムの追加・変更をすることができる。

ソフトの機能としてはアペンド監視、データ収集、グラフィック表示、トレンドグラフ表示、メッセージ表示、運転条件の設定操作、レポートファイル作成など。また、MS-DOSで起動する市販アプリケーションソフトからデータを利用することも可能になっている。

(92.8.20 日本水道新聞)

米社から輸入・販売—

乾式微粉破機「ヤコブソンミル」

Air swept pulverizer was introduced from Jacobson INC. (U.S.), and started marketing activities.

神鋼パンテックの粉体関連装置事業が一段と活発になってきた。米国の乾式粉碎専門メーカーと提携、微粉砕機「ヤコブソンミル」の国内市場開拓を開始した。衝撃粉碎、せん断粉碎、摩砕の三つの相互作用により処理材料を微粉砕する。分級機構も内蔵、粒径もシャープ。既存用途の化学品、鉱業分野のほか、セラミックス分野での需要を見込む。粉体関連装置を化工機事業部の次期基幹事業のひとつに育てるのが目的だ。

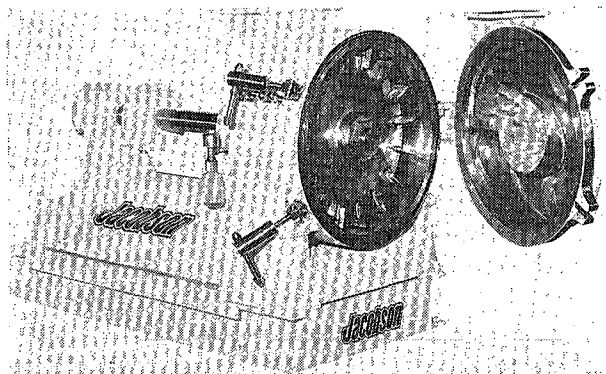
輸入販売する乾式微粉砕機「ヤコブソンミル」はエアスエプト式と呼ばれる微粉砕機のひとつ。装置内に処理材料を空気とともに取り入れ粉碎、再びその空気流に乗せ機外に取り出す。内蔵した分級板が粉碎品を分級、また空気の代わりに熱風を流すことで、乾燥を同時に行うことが出来る。

粉砕機内部では回転円盤に取り付けた羽根と粉砕室内壁との間で起こる衝撃粉碎(粒子同士の衝突による粉碎)、せん断粉碎(粒子にずれの力を作用させる粉碎)、摩砕(粒子に摩擦力を作用させる粉碎)の三つの作用を活用して粒子を微細化する。このため確実に微粉粒が得られる。

同社は、粉碎分野での事業強化の一環として米国の乾式粉碎専門メーカ、ヤコブソン社と提携、「ヤコブソンミル」の輸入販売による国内市場開拓に乗り出すことにした。今後は米国で実績の高い化学品、鉱業分野に加え、セラミックス分野での拡販に力を入れる。また原料供給機、バグフィルター、排風ファンなど周辺機器を含めたシステム構築も進め、高度なユーザーニーズに対応していく考え。

また今年3月、同社が進めていた本社工場(神戸市)から播磨製作所(兵庫県加古郡播磨町)への化学工業用機器部門の生産拠点の一元化が終了。これによりグラスライニング、ステンレス製機器などの新しい生産体制を確立した。さらに神戸市西区に技術研究所(今年3月完成)を新設するなど、化工機生産体制、研究開発体制の両面から強化拡充、中長期的経営基盤の再構築をほぼ完了した。

(92.10.12 化学工業日報)



乾式微粉破機「ヤコブソンミル」
Jacobson Mill